

ウェルカムパーティー



去る2月13日、ガーランド理事長はじめ、ポストン東スクールの先生方、保護者方をお招きして、「北原記念館ゆうアンドあい」にてウェルカムパーティーを開催しました。

大雪に見舞われた昨年度とは異なり、天候にもまらず恵まれ、たいへんアットホームな会になりました。当日は、ポストン東スクールへのご勤務経験のある武蔵野東の先生方も多く御参加いただき、旧交を温めておられました。会の終わりには、ポストン東スクール側から、ポストン東スクールにて長年にわたってご尽力された長内教育センター長へのサプライズでのプレゼント贈呈がありました。ポストンに赴任されていた頃に思いを馳せ、目頭を熱くされる先生方もいらっしゃいました。そして来年の再会と、武蔵野東およびポストン東スクールの両学園の繁栄を誓って、お別れ致しました。

司会を御務めいただいた与語幼稚園後援会会長、素晴らしいお料理でおもてなしいただいた今城先生はじめ、ゆうアンドあいの先生方に、学園の皆様、この場をお借りして御礼申し上げます。(小学校 白田副会長)

連合後援会代表幹事ご挨拶



高等専修学校並びに中学校後援会長を務めさせて頂きました大槻です。本年度は創立50周年の節目の年であり、各園校五役、クラス委員の方々をはじめ多くの保護者の皆様には、例年以上に後援会活動に対しご協力を頂き感謝しております。後援会四大事業が成功を収めたのも皆様のお力があつた事だと強く感じています。これからも後援会活動に支援頂きますよう宜しくお願い致します。

私事となりますが、高等専修3年の息子と中学3年の娘が、小学校及び幼稚園から学ばせて頂き12年が経とうとしています。入学当時を思い起すと、夫婦共々自閉症児の息子の将来に悲観し、一方では、親亡き後に息子と関わる娘が、真っ直ぐに兄を見ることができののだろうか不安に思っていた頃だったと思います。その二人の子ども達も、学園の先生方の熱心なご指導と、友人達との交流の中で逞しく成長し、その心には「友愛」の精神が宿ったものと感じています。

また、私自身はエンジョイリーダーや連合後援会だよりの制作、親父の店・保護者ラグビー部・サマーキャンプかき氷隊に参加し、むらさき・中学・高等専修の後援会役員に就任させて頂きました。ひょっとしたら学園で子ども達以上に私自身が、多くの学びを得たのかもしれない。また、活動を通じ知り合えた素晴らしい保護者の皆様や学園の職員の方々には、勇気とワクワク感を与えて頂き、私自身が東学園ライフをエンジョイ致しました。ありがとうございます。

皆様一人一人も、この素晴らしい学園ライフを満喫されることを祈念いたしまして、私の感謝の挨拶いたします。

連合後援会代表幹事 (高等専修学校・中学校後援会会長) 大槻 敬

編集後記

1月、三鷹の某ビルの個室で編集会議が開かれました。今春ご卒業の編集委員の方の送別もあり、夜更けまで連合後援会だよりの為(?)の熱い議論が続きました。初代編集長の方から、学園の先生方による発行の時代からの歴史(大げさ?)もお聞きでき、編集委員新米の私は、執筆者それぞれの学園への想いを載せる紙面づくりをお手伝いさせて頂きたいと改めて思いました。

学園50周年の関連記事で大いに盛り上がった今年度でしたが、ご愛読並びに執筆等のご協力を頂きありがとうございました。来年度も宜しくお願い申し上げます。(E)

●編集委員会(編集スタッフ)

高等専修	前原かおり	古谷道代
中学校	竹中真知子	早川康子
小学校	大河原ひろみ	飯塚希美
幼稚園	高見澤泰子	保谷梨紗
高等専修	大槻 敬	家住 隆士
中学校	青柳 博行	内藤 忠男
小学校	松井 幹和	咲間 全雄
		遠藤 崇浩



発行：武蔵野東学園連合後援会だよりの編集委員会 第64号 平成27年 3月9日発行



武蔵野東学園 連合後援会だよりの



早いもので今年度最後の便りをお届けします。お陰様で例年より一回多く「号外」も出させて頂きました。ご卒業・ご卒業を迎えるご家庭にはお慶び申し上げます。

記念すべき50周年を後援会便りを通じて武蔵野東学園が成し遂げた功績を再確認頂けたら幸いです。次の半世紀へ向けて来年度も編集スタッフは頑張ります。一年間のご愛読ありがとうございます。(N)

50周年記念講演会



半世紀そして未来へ

2014年11月11日
武蔵野東学園 創立50周年

平成27年1月17日(土)に、50周年記念講演会が東中体育館で開催されました。おかげさまで参加者350名と、多くの方々にご参加いただきました。

「共に生きる社会を目指して」という題目のもと、全国特別支援教育推進連盟の大南先生の基調講演を軸に、パネルディスカッションには清水校長、加藤園長、OB会から太田さん、後援会から大槻さんに加わっていただきました。

一連の50周年記念行事のトリを務めるイベントということもあり、大変なプレッシャーの中、さらに個性派揃いのパネリストのご意見を限られた時間でまとめるのは至難の業でしたが、さすが皆さんの東学園に対する熱い思いや温かい気持ちが伝わり、心地よい空間を皆さんと共有できたのではないかと思います。

「共に生きる社会」に必要なのは心と社会の成熟・バリアフリーであり、結局は人を育てることだと思えます。これまで東学園は、混合教育で培った子どもたちのみならず、保護者、先生方、地域の人々、就労先など、様々な人々を育ててきました。これこそが東学園が50年かけて培ってきた財産であり、今後のより良い共生社会の実現に活かされることを大いに期待したいと思います。

なお、本講演会は学園の先生方や後援会の皆様の温かいご支援のもと開催されたことを申し添えさせて頂き、ここに厚く御礼申し上げます。(むらさき会会長 有田 誠)



むらさき会新年会

1月17日(土)、むらさき会新年会が、学園創立50周年記念にふさわしく盛大に開催されました。

今年は、会場を中学校「北原記念体育館」に移し、約500名の参加者が集いました。

どのテーブルでも、先生方を囲みながら笑顔で語り合い、盛り上がっていました。また、広くてきれいな体育館で動きやすく、学年を超えた交流もみられ、皆様が楽しまれている様子に執行部一同安心いたしました。

50周年記念講演会後の会場準備で、限られた時間の中でしたが、先生方には、てきばきと迅速にお手伝いいただき、予定通りの時間に始めることができました。お忙しい中、後片付けまでお世話になり、心より感謝申し上げます。

保護者の皆様もご協力ありがとうございました。次回の参加もお待ちしております。(高2 A)

幼稚園

「こわい。」

発表会前日の息子の言葉。良くも悪くも周りお構いなしで飄々としている息子のあまりにも意外な言葉に面食らってしまった。よくよく聞いてみると、自分が失敗することで、みんなで作り上げたものが台無しになることを危惧しているらしかった。小さな小さな責任感。一見、後ろ向きに聞こえる言葉であるが、私たち親子にとっては、大きな大きな成長の証となる言葉であった。

年少のとき。初めての舞台に驚き、演技中呆然と立ち尽くしてしまった。年中のときは、昨年の苦い思い出を噛み締めながら、ひたすら自分と向き合っ、不貞腐れながらも、しっかり舞台に立った。

そして今年。決して運動が得意でない事を受け止めた上で、自分がいなくては演技が成り立たないという事実に期待を込めて、皆の一部になって責任を負うことを知ったのだった。そして、スポットライトの中、責任をとるという「こわさ」向こうにあるすばらしい世界を見せていただいた。(年長S)

発表会



中学校

先日楽しみにしていた発表会が行われました。

女子によるふしぎの国のアリスをモチーフにした衣装もかわいく元気いっぱい笑顔いっぱいの舞踊。CDE組のリズムの良い曲に合わせ会場の手拍子いっぱいの中で努力する素晴らしいさを教えてくれる体操。

そして息子の最後の出演となる武道が披露されました。一人一人の真剣な眼差しに思わず涙がこぼれそうになりました。

最後は力強いMyWayの歌、やさしい音色のリコーダーの演奏で幕が降りました。

子どもたちから元気をもらい生きていく力が湧いた1日でした。これからも東の子の成長を見続けていきたいと思える素敵な発表会でした。

これも日々暖かく時には厳しく指導して下さる先生方のおかげだと思っています。そして舞台監督の伊東さん長い間ありがとうございました(中2 U)

小学校

一昨年の秋、入学試験の面接の待ち時間に、前年度に行われた発表会の映像を見せていただきました。完成度の高い演技に驚き、入学できたとして、一年生になった息子がその舞台に立つことを想像し、楽しい気持ちもありましたが少し不安にもなりました。

初めての発表会を前に、息子は頑張りたい気持ちが強く、それゆえ焦りが出たり不安になったりしましたが、たくさんの練習を重ね、少しずつ自信を持って演技できるようになりました。そして本番では、仲間と心を合わせて演技を成功させたいという気持ちを体いっぱい表現していました。私が以前感じていた不安を打ち消す息子の全力の演技でした。

一年生も上級生も、こどもたちが自分の役割をしっかりと果たそうとし、仲間と心をひとつにして演技していて、見ていて胸が熱くなりました。先生方の熱心なご指導がこどもたちの心に響いていることを強く感じました。(小1 M)

幼

卒園の日が、刻一刻と近づいてきています。幼稚園生活を振り返ってみると、楽しかったことばかりが思い浮かびます。お友達と生活する楽しさを知ったお泊り保育、最後まであきらめずに頑張った運動会のリレー、みんなで力を合わせて演奏した発表会、など思い出は数え切れません。

また、幸運にも創立50周年という記念すべき年に在園させて頂いたため、タイムカプセルを埋めるという貴重な経験をさせて頂きました。園庭の改修も行われ、子ども達は新しくなった創造力を育む園庭で、どろんこになって遊ぶことができました。

幼稚園で過ごした日々の思い出は、子ども達の心に宝物としてずっと残り、新たな旅立ちの糧になると思います。

入園時は幼かった息子も3年間で、心身共にたくましく成長しました。優しくご指導いただいた先生方、一緒に遊んでくれたお友達、そして温かく見守ってくださった保護者の皆様のお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。

私の3年間の後援会活動も皆様に助けを頂き、何とか無事に務めることができました。本当にありがとうございました。

最後に、東学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。

幼稚園後援会副会長 竹中 雅子

小

嬉しくもドキドキしながら見守った入学式からあっという間に過ぎ去ったこの6年間は、私ども親子にとってたくさんのことを学ばせていただいた充実した年月でした。個別の学校訪問や説明会でのお話が心に響き、入学を熱望していた頃が懐かしく思い出されますが、混合教育という環境の下、様々な経験を通して息子がこの6年間で得たものは、これからの彼の人生にとって必ずや大きな糧となるはずで。

楽しかったこと、嬉しかったこと、苦しみながらも頑張ったこと、たくさんの思い出に溢れる小学校生活は、息子だけではなく私ども親にとっても宝物のように思える愛しい日々です。

本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

小学校後援会副会長 根本めぐみ

卒業にあたって

中

双子の息子達が東学園の制服に袖を通してもうじき9年、生を受けて15年しか経っていない子供にとって重要な人生の大半を占めるこの月日を、素晴らしい教育環境で過ごすことができた息子達は幸運だったと思います。

私も後援会活動という形で数々の行事を盛り上げるべく役員の皆様と共に活動させていただき、多くの方と関わることができました。貴重な経験に感謝ばかりです。

何もかも行動を共にしていた2人の息子もこの春別々の方向に進みます。東での経験が更なる成長への原動力となり、新たな一歩を踏み出すことに親子共々胸を膨らませております。

素晴らしい思い出を下さった東学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。

中学校後援会副会長 前林祥智子

高

息子が自閉症と診断され途方に暮れていた頃、東学園を知り年少からお世話になり15年。まだ先の事と思っていた卒業の日を迎える事となりました。これまでの先生方の熱意あるご指導に只々感謝の気持ちで一杯です。

混合教育の中、息子は、かけがえのない友達と出会い、私は同じ悩みや辛さ、喜びを分かち合える保護者の皆様と出会う事が出来ました。春から「お仕事頑張ります。」と嬉しそうに話す息子ですが、これから長い社会生活が始まると考えると身が引き締まる思いです。

最後になりますが、後援会では先生方のお力添えと保護者の皆様の温かいご協力を頂き活動出来ました事、誠にありがとうございました。

東学園の益々のご発展を願っております。

高等専修学校 後援会副会長 山莊 陽子

むらさき会

早いもので息子が 東学園に御世話になって 十五年の月日が過ぎ この3月で卒業を迎える事に成りました。

御陰様で学園では 人に迷惑を掛けない子どもから 人に受け入れて貰える子どもに成り そして最後に人の役にたてる子どもに育てて貰いました。

今は卒業を前にして 喜びと感謝の気持ちで一杯ですが、でも 逸れとは別に 是からは 東学園の卒業生 と云う大きな責任とプライドを背負って 社会人として遣っていけるのか？ と 云う事への不安と緊張の方が大きく成って来ました。

でも大丈夫です、学園で身に着けた沢山のスキルを充分に生かして行けば 必ず人の役にたてる仕事が出来ると思っています。是からが東魂の見せどころ、へこたれません最後まで。の気持ちで親子で頑張っていきます。

むらさき会 副会長 都野信三